

# 松 楓

令和4年9月1日 発行

題字 故 井上知真元校長

46



水彩画「100年の歩み」 24回卒 市川光男

## 埼玉県立飯能高等学校校歌

町田多加次 作詞  
鈴木宣彰 作曲

### 一、雲光る

仰ぎみる 碧き多峯主  
眼差しさやか

若き我らが 生命燃えて  
ああ限りなく 高鳴る胸よ  
ここ飯能の 学びの庭に  
友よいざ 師とともに

### 二、夕靄の

縫いめぐる 天地の間  
若き我らが 入間の水に  
ああ流れゆく 思念浮かべ  
ここ飯能の 星霜偲ぶ  
友よいざ 学びの園に  
尋ね捜さん 師とともに  
明日の道を

### 三、大空は

武蔵野に 暁のいろ  
若き我らが 陽はまた昇る  
ああ唳々と 哀歓揺れて  
ここ飯能の 吹く朝風よ  
友よいざ 学びの窓に  
謳い歩まん 師とともに  
青春の日を

昭和50年制定

## 創立100周年と共に、新校のスタート



23回卒 会長 澤田 清志  
(飯能市在住)

飯能高校創立100周年を、在校生並びに教職員の方々、多くの同窓生と共に祝いしたいと思っております。

大正11年、埼玉県西部地域の女子教育の充実の場として、飯能高校の前身である「組合立飯能実科高等女学校」が開校。以

後昭和4年に「埼玉県飯能実科高等女学校」、同5年より「埼玉県立飯能高等女学校」、同23年「埼玉県立飯能女子高等学校」、学制改革により同24年より男女共学の「埼玉県立飯能高等学校」と校名は何度かわりましたが、今年度創立100周年を迎えることができました。ひとえに会員の皆様の、母校を思う気持ちに感謝申し上げますと共に、同

窓会の事業運営にご協力を賜り、心から御礼を申し上げます。

そして、折しも来年度より飯能南高校との統合により、新校「埼玉県立飯能高等学校」が新たにスタートをします。多くの同窓会員のお力添えにより、校名が存続することができましたこと、感謝に堪えません。県教育委員会で公募をした新校名の八割が、校名存続「埼玉県立飯能高等学校」というものだったと聞いております。多くの方の思いが通じた思いですし、重ねて感謝申し上げます。

コロナ禍が続く中、今年度の同窓会事業も昨年同様、総会と

会報(「松楓」46号)発行のみの活動となります。定期総会も6月4日(土)の役員会をもって審議・了承し、報告する形となりました。何とぞご了承を賜りますようお願いいたします。

さて、創立100周年の年を迎え、記念行事につきましても、(PIIにもありますように)木川会長を中心とした実行委員会が着々と計画を進めております。コロナの感染状況が気がかりではありますがありますが、秋の行事に向け、計画通りに進行できますよう、切に望むところです。

同窓会報「松楓」につきましても、毎号多くの方々の寄稿に

よるもの、感謝いたします。その方々のその時代時代による思い出は、社会情勢であれ、授業風景、部活動、友だち関係と多岐にわたります。時に戦争を挟んでの学校生活もあり、100年という長い年月を感じることもできます。

さて、100周年を一区切りとすると新たな100年が新校と共にスタートします。今後も、母校飯能高校への応援事業を役員の方々や同窓会員のお力を借りながら、一歩一歩取り組んで参る所存です。母校と後輩たちを応援して参りましょう。

## 歴史と伝統を踏まえた新校に向けて



校長 矢島 得充

御理解・御協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、奥武蔵の山々が彩り鮮やかになる今秋10月29日に、創立100周年記念式典並びに祝賀会が挙行されます。100周年記念事業につきましては、木川一男会長様のもと、100周年実行委員会の各部会の皆様を中心に準備を進めていただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

げます。本校としましても、100周年の節目に相応しく、厳粛に、また、盛大に執り行うよう準備を進めております。また、「学校応援事業費」を頂戴しまして、重ねて感謝申し上げます。生徒に還元できるものとして、ICT(情報通信技術)を活用した授業の重要性が謳われている昨今の教育事情を鑑み、ICTの環境整備などに使わせていただきたいと思います。

すでに御案内のことと存じますが、来年度、飯能南高校と統合し、「進学を重視した地域と協働する単位制の高校」として新たな歩みを始めます。現在、生徒の進路希望の実現と進路実

績を伸ばすために教育内容を大幅に変更し検討を重ねております。特に、教育課程において、科目の選択幅を拡大し、多様な教科横断的な科目を設置し、また、探究的な学びを積極的に取り入れることで、これからの新しい時代に求められる資質・能力を育む教育を実践してまいります。県西部地区の文武両道の伝統校としてその名を馳せた時代に少しでも近づけるよう、これまでの教育と先進的な教育を適切に融合しながら取り組んでまいります。

最近の本校の状況ですが、2年以上に渡る新型コロナウイルス感染症の影響で、教育活動が

計画通りにできず、休校や分散登校、行事の縮小・中止という、コロナ禍以前では考えられない、学校運営となつてしまいました。生徒たちにはつらく不自由な高校生活をさせてしまいました。現在は、県の方針に基づき、感染症防止対策を徹底し、まだ制限はあるもののほぼ通常通り、学習や部活動、行事を進めております。

最後にこの同窓会報「松楓」が皆様のお手元に届く頃、生徒たちが安心して高校生活を謳歌している姿を思い描きつつ、着任のあいさつといたします。

この度、関口前校長先生の後任として着任いたしました校長の矢島でございます。昨年度まで、教頭として3年間本校に勤めておりましたが、引き続きご愛顧を賜りますようお願いいたします。

同窓会の皆様には、平素より本校の教育活動に対して特段の

お礼申し上げます。

お礼申し上げます。

お礼申し上げます。

# 寄稿

## 校歌を唄って リハビリに励む



高女14回卒  
荒田 静江  
(所沢市在住)

きて賑やかな生活を再開しましたが、何せ戦時中ですから、思いは数多くなく、課外授業では茶摘みや高尾山への遠足などが記憶に残っています。授業では理数が好きで、理科の赤田先生が印象深いですね。同窓会報の題字を書かれた井上先生には国語を習いました。

私の女学校時代は昭和15年から19年の4年間でした。1年生の夏に母が急逝し、私の姉妹6人は父方の実家がある当時の大里郡小原村（現在の熊谷市小江川）に預けられ、私だけが入間郡宮寺村（現在の入間市宮寺）に残り、開業医をしていた父と暮らしました。寂しさを紛らわすために通学していた面がありましたね。通学は砂利道だった国道16号を通過して自転車で豊岡町駅まで行き、2両編成の西武線で飯能駅まで通いました。鉄道と言え、昭和22年の大惨事、八高線の東飯能―高麗川間の列車脱線転覆事故で同級生が亡くなったことは、忘れられない、また忘れてはならない出来事でした。

2年生になると弟妹が戻って



夏服姿で高尾山遠足（1年）



通学の仲間たち（左端）

卒業後は専門学校に通いましたが、昭和20年3月の東京大空襲で校舎のほとんどが焼けてしまい、授業どころではありませんでした。最近のロシアによるウクライナ侵攻を見ますと、当時のことが思い出され、心が痛みます。

結婚後は所沢市に住み、2男を育て、孫5人曾孫8人に恵まれました。同居する長男家族の下で、悠々自適の生活を送っていた平成29年、90歳間近で脳出血を発症しました。車椅子を利用する生活となり、時折自宅に戻るものの、主として介護施設のお世話になって5年が経ちました。発症時余命2年と言われたようですが、とうに通り過ぎています。この要因は食べられないことですね。食べるためには自分の歯が大切ですが、飲み込めることも欠かせない要素

「二月一日」を唄い、正月が過ぎたら愛唱歌に移りました。最初は「高原列車は行く」を唄いましたが、家族とのリモート面会があった2月上旬のある日、女学校時代によく唄った校歌の歌詞「飯能高女のが学びやよ、が思い浮かびました。当時歌と言えは軍歌が多く、口ずさめる歌として校歌の存在は大きかったですね。

しかし、その部分以外は唄えず、家族には女学校の時の校歌とわかりましたので、歌詞を調べてくれました。ところが、インターネットで調べても、飯能



卒業式（後列右から2番目）

わっていまし  
た。

令和4年の  
2月下旬にな  
り、いろいろ  
な方に助けて  
いただいた旧  
校歌の歌詞が  
手元に届き、  
早速唄ってみ  
ましたが、声  
が出にくくな  
ってきている  
こともあり、  
半分くらいし  
か唄えませ  
んでした。その  
後、家族との  
オンライン面

高女のわが学びやよの歌詞は  
見つかりません。旧校歌の1番、  
2番は載っているんですが、校  
名はありませんでした。

もしか、旧校歌の前にもっと  
古い校歌があるのではないかと  
想像した家族が、飯能高校の  
同窓会にメールで問い合わせた  
ところ、実は女学校当時の旧校  
歌に3番があることを教えてい  
ただきました。高校に原作の3  
番まで書かれた書が今も存在し  
ているとのことですが、戦時中  
は原作とは一部異なる歌詞に変

会の都度唄うようにしたところ、  
1番、2番は全部、3番もほぼ  
唄えるようになりました。今では  
歌と言えば校歌を口ずさんでい  
まして、老いを緩やかにする選  
択肢の一つとして、当時を思い  
出しつつ校歌を唄うことが効果  
的であることを実感しています。  
末筆ながら、創立100周年  
誠におめでとうございます。飯  
能高校同窓会のみますますのご隆  
盛を祈念申し上げます。（本人の  
発言や最近の行動を筆者の家族  
が取りまとめました）

# 寄稿

## ファインダーの中の責任

定37回卒 金尾 礼仁  
(横須賀市在住)

飯能高校創立100周年  
おめでとうございます。この  
節目の年に寄稿文のお話を頂

戴し、また私自身還暦を迎える  
年にあたり、これまでを振り返  
る良い機会となります。

私は現在、テレビ番組の制作  
現場でカメラマン、プロデュー  
サーという仕事をしています。  
番組は様々ですが、現在は主に  
NHKBSPレミアムで放送し  
ている「美の壺」という美術番  
組に携わっています。この番組  
は生活雑貨から文化財、国宝、  
更に風習や精神世界に至るまで、  
美をテーマに構成する番組です。

毎回取材を通して多種多様な学  
びと出会いがあります。7月に  
放送した「鈴」がもたらす美の  
世界は、時を超えた「もののあ  
はれ」を知るものでした。こう  
して全国を取材行脚する日々は  
35年になります。この職業に  
就いたきっかけは、高校に再入  
学を薦めてくれた「ある先輩」  
との出会いでした。

飯能高校定時制に入学したの  
は昭和57年19歳の時でした。ク  
ラスは15歳から20歳までの25名  
程で、年齢差から良きも悪しき  
もクラスのまとめ役でもありま  
した。夜の給食、水銀灯下での  
体育、睡魔と戦った授業など思  
い出は言い尽くせません。私は  
当時4トントラックのドライバー  
でした。ひんしゆくをかいな  
がらも遅刻寸前トラックのまま  
校門をくぐり、夜9時終了の鐘  
とともに地方へ向け出発する、  
こういうこともしばしばありま  
した。石田教頭先生の計らいで  
職員室のソファで仮眠をとっ  
たことも心に残る思い出です。  
このように先生との近い距離感  
が、4年間夜の校舎に通い続け  
られた大きな要因でした。担任  
の先生は体の向きで教式を教え  
る佐野有恒先生。学外では巧み  
なステイックワークで魅了する  
ドラマターの顔を持ちYUKOと  
呼ばれていました。先生とクラ



中国雲南省にて

# 喜寿の祝

## 終戦の年に生まれて



16 回卒  
上村 玉江  
(飯能市在住)

私は昭和20年8月に生まれました。当時、多くの男性は出征し、生まれてきた子は満足に食物が無く、亡くなってしまう子どもが多かったという話をよく聞くことがありました。親や周囲の大人達は私たちを育てるのに大変苦労をして、その結果この学年の人数は前後の学年より半分近く少ないのでした。

飯高時代、なぜか強く印象に残っている授業があります。歴史の先生は戦争で悲惨な体験をされて、その体験を混じえての授業でした。その時ある生徒が、「祖国を守る為に進んで戦ったのに、兵隊にとられたとか、夢をあきらめたとか言うのは変だ。」と発言しました。授業に抗議する風潮などない時代でしたので、その生徒の主張にはとてもショックを受けました。命令で仕方なく戦争に行った人、国を守る為に喜んで命を捨てる覚悟で出征した人。私達は始めは呆気に取られ、ざわめき、やがて物事

には様々な考え方があるのだという事を実感しました。

今回、ここに文章を書くことになりましたが、高校の時の私は音大を目指していて、遅れを取り戻す様に夢中でピアノを練習していたので、正直あまり思い出が多くはありません。音楽の飯島先生は、私のわき目も振らずの演奏を指摘されて、メロディを自由に歌わせる事や、和音の色彩の変化を表現する様な指導をしてくださいました。でも、私は先生のやり方が飲み込めず、もつと難しい曲を弾きたくて友達に文句ばかり言っていました。先生をやっと理解出来たのは、自分がピアノを教える立場になってからです。想像力、共感力を強く持たないと表現の幅が広がらないし、心のこもった演奏にはならないことに遅ればせながら気付きました。

現在は10年以上リコーダーアンサンブルを楽しんでいます。合奏が好きなのは小学校からのことです。18世紀が最盛期だったこの楽器は息の強さでピッチを揃え、タンギングで速い音をクリアにして華やかな演奏も可能です。押えた指の下で空気がまるで踊っている様に感じると、とても楽器が愛おしくなります。仲間とのメロディのかけ合いもワクワクするものがあります。これからも長く続けて行ける様に健康に留意して暮らしていきたいと思えます。

スの半田、田沢、私のほか友人でロックバンドを結成し、そのライブ活動は卒業後も続きました。このかけがえのない定時制時代を導いてくれたのが「ある先輩」古川貢司さんです。やんちゃな頃より先を見据え体現する一つ歳上の先輩で、その大きな背中を私は常に追いかけていました。定時制に通うことを薦めてくれたのも当時定時制3年に在籍していた古川さんです。私は昭和61年に定時制を卒業し、古川さんの後を追って飯能ケーブルテレビに就職。そこで古川デイレクター、金尾カメランという今日に続く私の原点が生まれました。その後それぞれ独立し10年の月日が経った頃、古川さんが病に倒れたとの連絡を受けました。その別れはあまりにも突然でした。43歳でした。古川さんの言葉が今も蘇ります。「ファイインターの中の世界はお前のもの、その分責任を持ってレンズを向けてくれ」と。この言葉は今の番組作りでも大切にしています。

私の集大成の番組の一つであるNHK ETV特集「見狼記、神獣ニホンオオカミ」が、2012年2月に放送されました。この番組は100年以上前に絶滅したとされる日本狼の幻想を追いかける人物に密着、今も秩父地方に残る狼信仰など、見えないものを見ようとすると人々に2年に亘りレンズを向けたドキュメンタリーです。いかに被写体を自然に切り取るかが問われました。例えば撮影する人物の視線に入らない角度からレンズを向け意識をそらします。また自然やその空間に身を置く時は、その場に流れる気や磁場を全身で察知し、息を殺してレンズを向けます。常に全体を見る目と、



NHK ETV特集「見狼記～神獣ニホンオオカミ～」  
(埼玉県と山梨県にまたがる飛龍山から望む風景)

自分には撮れない視線で瞬間を切り取ることで、それは古川さんから学んだことを生かすカットの積み重ねでもありました。ATP賞テレビドキュメンタリー部門、優秀賞を受賞した番組でもあります。いつか私の原点、飯能にもレンズを向けたいと思います。最後に寄稿文の話を頂いた細田剛久先生、宏子先生ご夫妻をはじめ同窓会役員の方々にご心よりお礼申し上げます。

# 先輩・後輩

## 今昔

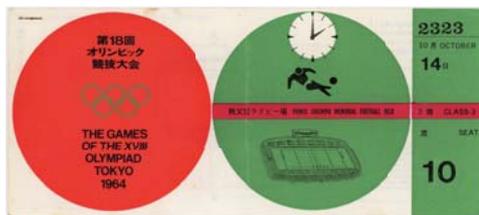


13回卒

田村 伸子

(飯能市在住)

高校2年の時、母校に立派な体育館が完成し落成式が行われた。ゲストにお呼びしたオリンピックメダリスト男子体操の相原信行選手、女子体操の池田敬子選手が、ほかの選手と共に全校生徒の前で模範演技を行った。館内は溜息と感嘆の声でわいた。この時の衝撃は今も尚忘れ難く思い出すのである。



1964年 東京オリンピック・サッカーチケット

達がサッカーのチケット4枚を手にした。体操なら嬉しかったのにサッカー。あまり気乗りしなかったが、次は東京開催される事は無いかも知れないと、気を取り直して観戦することにした。

10月14日晴れ。秩父宮ラグビー場は学帽姿と成人男性ばかり、私達女性4人は場違いの様だった。長いベンチに行儀よく隙間なく座り、チエコスロバキア対アラブ連合共和国の試合が始まった。最初はわからないから静かに見ていたが、だんだん面白くなって両チームに大きな声援を送り、気持ち良く終わった。チエコスロバキアが5対1で勝ち、アラブ連合共和国には負けて帰るのつらいよねと同情する。

TOKEYO2020オリンピックが終ったばかりで色彩やかに記憶はあるが、セピア色になりつつある58年前の東京オリンピック、サッカーとの出合が懐かしく思う。

高校での部活は体操部、飯野初枝先生にご指導していただき、くじけない心を養った。

そして今、健康が一番とマイペースで重りを使った筋力体操「むーまワクワク体操」を、地域の人たちと楽しんでいる。



## ああ 高校三年間



18回卒

細田 豊

(日高市在住)

『赤い夕日が 校舎をそめて』。これは、昭和38年に大流行した、舟木一夫の「高校三年生」の歌詞の一部である。私が飯能高校に入学した年の秋頃だったように記憶している。歌のように、学び舎が夕日に暮れる頃、バレー部の練習が終わり、我ら3バカトリオは帰路に着く。今と違い、練習は校庭だったので、ユニフォームは土で真っ黒だった。3バカトリオとは、誰が言ったか定かではない。ただ、180cm級の長身の3人組だったので、目立ったのかも知れない。

小熊水一(享年49才で急逝)は、体重も100kg超であった。新藤清は、一番の長身。私は3人の真ん中だった。だから、3人っていると周囲からは、頭一つ飛び出していたらしい。最初は、7〜8人、入部したように覚えているが定かではない。ほとんどが未経験者で、部室に連れ込まれ、強制的に勧誘された。だからか、3年の時には、3バカトリオの3人だけになっていった。当時のバレーボールは、9人制から6人制への移行の時であり、東洋の魔女と言われた日

紡貝塚を中心とした全日本女子チームが、東京オリンピックの金メダル候補と話題になっていた時であった。そして、我がバレー部は、と言うと、決して強豪チームではなかった。だが、長身の3バカトリオ率いる飯能高校は、西部地区では、一目置かれていた。

卒業後は、小熊と新藤は都内の9人制のチームのある大手の会社へ就職し、バレーボールを続けた。私も就職するつもりでいたが、女子の顧問の吉田紀之先生から、「おまえは大学で通用するかも知れない。」と言われて、その気になってしまったようだ。担任の石田久先生も、急なことだったので、驚かれたと思う。以後、4年間のバレーボール漬けの大学生活が始まることとなった。

大学卒業後、当時は超難関であった教員採用試験に合格してしまつた。世の中、何があるか分からないから面白い。中学校に奉職し、ここから更に、バレーボールの様々な場面(部活の顧問・埼玉教員チーム・クラブチームの結成と県制覇・バレーボール連盟・体育協会等)に関わっていくことになった。

「ああ、高校3年間」。飯能高校での3年間は、私自身の現在までの充実した人生の大きな糧になっていくことは、間違いないものである。高校生活全ての体験や出会いに感謝している

## 飯能高校の思い出



23回卒

若生 政江

(飯能市在住)

私は高校受験に失敗した。そこで、進学をあきらめ住み込みのお手伝いさんになろうと考えていた。当時のテレビドラマ「風と樹と空と」の鰐淵晴子演ずるお手伝いの多喜ちゃんに憧れ、良家で料理や行儀作法見習いをして、素敵な女性になりたかったからである。

ところが父は、中学の担任と相談し、2次募集をしていた飯高に入学を決めてきた。同じ中学からは、男子一人と私だけの入学であった。私たちの中学は東武鉄道沿線のため、飯高に進学する人はほとんどなく、スポーツに優れた人が行く高校と想っていた。実際、一つ上の俊足の先輩が陸上部にいただけである。この先輩は、廊下ですれ違ふと「もつと足を高く上げて」と、運動が苦手の私によく声を掛けて喝を入れてくれた。入学直後の不安な私にとっては、頼れる先輩であった。さて、高校のクラブ活動は、社会部と文芸部に所属。社会部では、飯能戦争を調べ、渋沢平

今日この頃である。『越えて歌おう』この歌を』

九郎について学んだ。文芸部では、『文芸誌「麦」』を発行し、詩や文章をしたためていた。また、顧問の村松先生引率の下、2年生の夏は秩父に、3年生の夏は、石川啄木の故郷、岩手県浪江村を訪ね、松島の瑞巖寺にも足を伸ばす文芸旅行をした。修学旅行以外での仲間との遠出は楽しい思い出である。

また、クラブ活動ではないが、保健委員として3年間活動した。2年生の体育祭では、松井先生はじめ委員全員で献血協力呼び掛けした。朝日事務長、図書館の人も一緒に白衣姿の記念写真が残っている。

ところで、私たちの高校時代は、大学紛争の余波で、学園の民主化が叫ばれ、飯高にもその影響が少なからずあった。ある日、教員から体罰を受けたと体育館の壇上で泣きながら実情を訴える生徒がいた。生徒会は形骸化し、様々な問題が浮上した。ホームルームでは、毎日熱い議論を重ねた。この時、良識ある先生方は、生徒の意見を尊重し真摯に向き合ってくれた。今考えると民主的で前向きな高校だったと思う。

この経験は、悪いことは悪いと訴える勇氣、真実を見極める力、理論的思考と対話の重要性等を学んだ。消極的だった私に積極性が芽生え、その後の人生に役立っている。

有意義な高校生活であったが、

飯高へ入学して一番良かったことは、そこで生涯の伴侶となる人との出会いがあったことかもしれない。大学図書館員として40年余り勤務、今は憧れの主婦業、お手伝いさんである。最後に、半世紀以上も前のこととを思い出す機会を頂き感謝します。

### 高校時代に想いを寄せて



28回卒  
山下 道夫  
(日高市在住)

カーペンターズの曲に「遙かなる影」という曲があって、高校時代だったかは定かに覚えていないが、青春時代によく聞いた曲である。この「Close to You」の和訳を見たことはないが、おそらく恋愛の歌であり、想いが届かない愛しい人の「面影」を曲名の和訳としたのだと、勝手に考えている。

高校時代の青春は、もう手の届かない遠い過去となってしまったが、自分にとっては、淡い遙かなる光のようにも感じる。高校時代の同級生などの面影はそのままだ脳裏に残っているのに、具体的な学校生活や出来事などはリアルに思い出せず、ただ、ほんやりと淡い光として胸に残っているだけだ。でもそれは、

とても大事な心の支えになって

いる気がする。誰にでも、長い人生の中で、大きなつまづきや、どうしようもなく辛い目にあうことがあるが、青春時代の遙かなる光が、ときに蘇って、それを癒してくれることがある。

朝、すれ違う生徒に「おはよう」と声をかけると、少しはにかんで挨拶を返してくれる姿に、未だ無防備な初々しさを感ずる。在校生には、前向きに、明るく、元気で、時に苦あれど基本的に楽しい一日一日のある高校生活を過ごして、青春時代の光となるひと粒ひと粒の因子を心に刻んでほしいと願う。

益々、複雑多様化する社会生活にあつて、ネットでの誹謗中傷なども珍しくなく、我々が社会人になった時よりも、遙かに多くの困難やリスクが潜んでいる。そんな大人社会に羽ばたいていく若い方に、少しでも心のよりどころを豊かにしてほしいと思う。高校を卒業してしまつと、その後の交友関係などは希薄になりがちだ。自分も大学に進学して間もないころ、付き合ひの成り行きで何度か明治神宮球場に行き、母校の応援歌である「紺碧の空」を歌ったことがあったが、ただ、それだけだった。それなのに、前触れもなくふつと湧き出る懐かしさに誘われて、飯高が出場する県大会には、社会人になってからも、何度かたった一人で出向き、ひっそりと応援した。

野球部員でもなかったのに。

現在、再任用職員として、本校の事務室でお世話になっていますが、県立学校全体の財務事務の点検・助言という特殊業務に就いているため、本校の学校運営に貢献できず、申し訳なく思っている。せめて、野球部だけではなく、いろんな部活の大会結果を仕事の合間にこっそり検索して、勝てば嬉しく思い、負ければ残念に思う今日このごろである。

### 「師」とともに



33回卒  
大野 賢一  
(飯能市在住)

私が在籍したのは70年代後半で、市内の生徒も多かったように記憶しています。運動部が盛んで、野球、サッカー、陸上、女子バスケット、男子バレー、ホッケー、弓道、そして忘れてはならない、山中先生のレスリング、大場先生の柔道。さらに文化部も活気がありました。その当時は、夏休みになると、校内合宿をする部活があり、合宿所がわりに教室を使用していました。夏休みになると、各教室から干してある布団が見えるのが風物詩でした。校庭を見ると、現在の西門あたりに、レスリング場と柔道場は並んでいました。向かい側には剣道場があり、格技場を両脇に従えて、その奥に

体育館がありました。現在の体育館の場所は陸上用トラックのあるグラウンドでした。野球部のグラウンドに通じる通路は、いわゆるアンダーパスで、大雨の後では水没していたものでした。色々な先生方にお世話になりました。担任は奇しくも3年間とも国語の先生でした。1年の担任は佐野博之先生。すみや電気の方で野田店の店長をしているそうです。お元気そうでなによりです。2、3年が半田稔先生。3年前に、同級生が集まった時、「今度、同窓会をやるよ」ということになり、そのときは、「半田先生を負ぶってでも、連れ出そう」といわれ、その大役が私に回ってきたのですが、コロナ自粛になり、まだ実現していません。半田先生、歩いてこられますよね？

時は流れ、教員生活が始まりました。学生としてお世話になった先生方が、突如同僚として登場するのが、この世界の面白さと緊張感かも知れません。豊岡高校では町田、大場両先生と最後の1年間を一緒にさせてもらいました。特に大場先生は柔道部の顧問として勉強させてもらいました。飯能南高校では櫛田、藤田先生と、同じ学年団で1年間一緒に過ごしました。小泉校長とは、生徒指導部主任として、色々お世話になりました。

お世話になった先生方との再会によって私の教員人生も進ん

できました。師恩に報えたかどうかは、微妙なところですが、恵まれた教員生活を送れたかなと思う今日この頃です。

### 出会いに感謝！



38 回卒  
西島 正樹  
(飯能市在住)

飯能高校での3年間、友人、先輩、後輩、先生などたくさんのお会いがありました。その中でも忘れることのない出会いがあります。

それは入学して間もない日の昼休みでした。バレー部に入部した彼が中学でバレー部だった私を勧誘するため、私のクラスを訪ねてきました。それが、30数年に及ぶ彼との付き合いの始まりでした。

月日は流れ、大学4年生の時です。飯能市役所に勤めていた彼が、「市役所のバレー部に入部してほしい」と今度は飯能市役所バレー部の勧誘に、それも市役所の受験申込書を持ってやってきました。当時はバブル期だったことから、早々に複数社から内定をもらっていました。どこに決めようかと考えている時でしたが、受験申込書まで持ってきてくれたこともあり、とりあえず飯能市役所の試験を受けてみることにしました。早い

もので、飯能市役所に勤めて今年で33年目となりました。約束どおりバレー部に入部し、現在まで現役を続けています。

また、飯能高校創立100周年記念事業実行委員会の事務局を現在勤めさせていただいているのも飯能市役所に勤務していることがきっかけであり、高校1年の昼休みにバレー部に誘われなければ、実行委員の声もかからなかったと思うところです。

母校飯能高校は昨年創立100周年を迎え、今年、記念事業が行われます。そして、飯能南高校と統合され、来年度からは新校となります。

飯能高校には、現在男子バレー部はありません。バレーボール人口も減っています。いつかまた、男子バレー部が復活し、一人でも多くの人にバレーボールの楽しさを知ってもらえる日が来ることをOBとして期待しています。

### 笑顔が一番



43 回卒  
町田 博幸  
(入間市在住)

長女が小学校を卒業しました。卒業アルバムを見せてもらうとなつかしさがこみ上げ、自分自身の卒業アルバムを見返してみました。飯高を卒業してから31

年が経っていました。

高校1年生の時、元号が昭和から平成に代わりました。高校2年生の時、クラスの何人かで発売されたばかりの人生ゲーム平成版を丸見堂で購入し、教室でゲームを始める準備をしていました。いざ始めようとして、

あの気持ちいいルーレットを回す瞬間に担任の先生に見つかってしまい、取り上げられてしまいました。まだ、誰も一度もルーレットを回す前に…。令和になった今でも返却はされておられません。

部活動は、高校で初めて柔道部に在籍しました。平沼先生のご指導のもと、初段を取ることができました。アルバムの写真を撮るときは茶帯でしたが、初段になることができたので、改めて黒帯を締めて写真を撮り直してもらいました。非常にうれしかったことを思い出しました。

高校3年生の時の榛の木祭では、クラスのみんなで法被をそろえ、一生懸命、やきとりの販売をしました。結果として、クラスが一つにまとまり、その後の高校生活の毎日がすごく楽しくなったことを昨日のこのように覚えております。その時からです。私は、みんなが楽しくしているのが好きで、その中にあることが好きになりました。笑顔が一番。毎日、笑えばなしで、スゲー楽しかったです。ずっとその輪の中にいたかったです。

私は今、飯能高校の先輩や同級生、後輩の皆さんと一緒に仕事をさせていただいております。これからも飯高魂を忘れず、笑顔で楽しくがんばっていきたいと思います。

最後になりますが、飯能高校で出会った皆様、卒業してからの出会う皆様、これから出会う皆様とのお縁を大事にしていきたいと思えます。飯能高校の更なるご発展を心よりお祈り申し上げます。

### 未来へのきっかけ



48 回卒  
小島 正寛  
(飯能市在住)

今回この「松楓」への原稿依頼を職場の上司を通じて引き受けることとなった。ひと回りも歳の離れた職場の上司、そして何よりも母校の大先輩ということで、表向きは二つ返事で引き受けさせていただいた。が、しかし、いざ原稿を前にすると書くことが浮かんてこない。勉強にも部活動にもろくに打ち込まずに過ごした3年間だけが思い返されるのみ。「何と勿体無いことを」と今更ながら苦笑してしまった。

当時の思い出もそれなりに思い出せてきたが、何よりもこの飯能高校で3年間を過ごしたお

かげで45になる今でも付き合いのある同級生がいることがありがたいことだと感じている。現在は、新型コロナウイルスの影響もあり、地元飯能の同級生とですら飲みに行けていない。しかし、この状況下でも今はSNSを通じて近況を報告しあえるのが救いだ。

「今でも付き合いのある同級生」と先に書いたが、当時は時折話す程度で、一緒のグループだったわけではなかった。だから、卒業後の進路や連絡先なども知らないまま卒業し、それっきりだと思っていた。

その後、大学を卒業し、地元飯能で就職し数年たった頃に偶然幼少期から高校まで一緒だった友人と再会した。彼とは中学時代に同じテニス部でペアを組んでいた仲だったが、やはり高校を卒業してからは疎遠になっていた。そんな彼と再会し、フットサルチームに誘われたことから他の同級生たちと再会することとなり、現在に至っている。その間には、飲み会はもちろん、海や山にも行った。そのうちに一人、二人と家庭を築き始め、昼間の健全な遊びの際にはその家族が一人、二人と増えていった。こんなふうに仲間と再会し家族ぐるみで付き合い合えるなんてことは高校生当時には考えもしなかったことだ。今では私にも家族ができ、家族ぐるみの付き合いをさせてもらっている。

そして、地元飯能に就職したおかげで、多くの飯能高校卒の先輩・後輩という仲間にも出会えることができました。そのおかげで、今回このような貴重な機会をいただくことができました。この機会がなければ当時のことをろくに振り返りもせず、仲間の大切さやここには書ききれない様々で些細な、でも私にとっては大切な思い出を思い出すことなく過ごしていたことだろう。

こうして思い返すと、私にとっての高校生活は、未来の仲間と出会うきっかけをくれた大切な場所であり、時期だったのだと気づくことができました。

これからも現役生、卒業生にとって大切な場所であり続けてほしい。

### 熱中していたもの



53回卒  
中 知亮  
(所沢市在住)

私の高校生活3年間は、文化祭、体育祭、修学旅行といった学校行事の断片的な記憶はあるものの、印象に残っているものは入部していた陸上部の記憶しかない。

今回、松楓の原稿依頼を受けてたときに感じた正直な気持ちです。それくらい、部活動が生活の中心にあり、部活動に熱中し

ていた高校生活でした。

中学校で、サッカー部に所属していた私にとって、県内でも名の知れた飯能高校陸上部へ入部した時は、驚きの連続でした。

まず、先輩方が走るスピード感や練習量の多さに圧倒されました。比較的練習強度の低い、朝練習ですら、先輩方について行くことができず、悔しさと同時に、このまま続けていくことができないのか不安な気持ちになったのを覚えています。

不安な気持ちを持ちながらも練習になんとかついていけるようになってきた矢先、靭帯の炎症や疲労骨折といった怪我が続き、落ち込んでいたときがありました。その時、顧問の先生や先輩、同級生の支えや励ましがあり、前向きな考えを持つことができたおかげで、3年間部活動を続けることができたと感じています。

また、先輩方が真摯に陸上競技と向き合い、食欲に強くなろうと切磋琢磨する姿に心を打たれ、自分も先輩達の力になれるようにできる限りのことをしようと思ったことも思い出のひとつです。

飯能高校は練習環境にも恵まれていたように感じます。校内のグラウンドだけでなく、芦荻場の方面へのロード走や宮沢湖周辺のクロスカントリーコースといった練習環境があったからこそ、高低差のある駅伝コースに対応

できる筋力や心肺機能の強化が図れたと感じています。今でも、芦荻場方面や宮沢湖を訪れると、必ずといっていいほど、陸上部での練習風景を思い出します。

陸上部のことを思い出すと、きりがありません。私の人生でこれほどまでに一つのことに熱中できたことは他にないと思います。共に切磋琢磨した仲間とは、卒業から20年以上経った現在も近況を連絡し合い、時には酒の席を共にする一生の友となっています。

### 高校時代と現在の私



58回卒  
池田 守  
(飯能市在住)

私が「松楓」の原稿を書くきっかけとなったのは、ある夜自宅にかかってきた一本の電話での顧問であった森西先生からでした。飯高を卒業して16年経ちますが、当時とお変わらない声で懐かしさを覚えました。話の内容は、今飯高に戻ってきているということと、「松楓」の原稿依頼でした。「松楓って何だよ。」

と思いながらテニス部のN君とS君に相談しました。(名前を載せると怒られそうなので伏せます。)親身になって相談に乗ってもらえたので2人にはとて



顧問森西先生とN君とS君

も感謝しています。では、本題に入ります。

当時の学生生活を振り返ると一番最初に思いつくのは、今となっては考えられませんが、毎日のように遅刻をしていました。学校までの道のりは、徒歩5分、走れば3分と目と鼻の先。近すぎて家を知られたくないとか、飯高通りが静かになったら家を出ようという思いはありました。始業のチャイムギリギリか1、2分遅れての着席でした。親に通知表を見せると遅刻の数に怒られた記憶もあります。

学生生活はなんだかんだ色々面白かったですし、当時入部していたテニス部も個人・団体共に目立って大きな実績はありませんが、充実した日々を送ってきたと思います。

現在私は、分析会社で環境調査の仕事をしており、シックハウス、土壌、アスベスト、水質等色々と現場に赴き調査する仕事

をしており、日々勉強で忙しい毎日を送っています。将来は、環境計量士の資格取得に向けて挑戦していきたいと思っております。最後になりますが、飯高と南高が合併するという話を耳にしました。コロナ禍で色々と大変ではございますが、今後更なる発展をお祈り申し上げます。

### 弓道から学んだもの



63回卒  
鈴木 康司  
(飯能市在住)

飯能高校を卒業してから13年が経ちました。今に活きているものは、高校での弓道生活から学んだものばかりです。

私は、弓道をやりたい一心で飯能高校へ入学しました。当時から飯能高校は弓道部が強いことで有名であり、私の兄も弓道部に所属し、成績を収めている姿を見て弓道への憧れを持つようになりました。また、部活動体験の際に見た諸先輩方の真剣に部活へ取り組む姿、礼儀作法ひとつ取っても、弓道を経験した人でしか見出せない輝きを放っていたのだと、今振り返れば思います。

入学後、私は迷うことなく弓道部へ入部したわけですが、当時活躍していた兄の七光になるまいと必死に練習しております

た。しかし、いつしか自惚れが生まれ、生半可な気持ちで部活に臨んでしまうこともあり、伸び悩むことも多くありました。そんな中、当時の熱血指導顧問であった新津先生から手厚くご指導いただき、いつしか私のたるんだ気持ちが更生され始め、3年生の時には未熟ながらも私を弓道部主将へと導いてくださいました。

新津先生は弓道への情熱が誰よりも熱く、また、弓道を学ぶ生徒への愛情が誰よりも強い先生でした。私自身、実力不足で主力メンバーから漏れてしまったものの、私の1学年上の先輩の代ではインターハイ個人戦初出場にして初優勝、また、私の代ではインターハイ団体戦初出場にして初優勝という素晴らしい結果へ導いてくださいました。これらの経験を通して、「努力は人を輝かせること」、また、「何事も素直な気持ちで取り組み、良い結果が訪れること」など、良い人間になるための核となる部分を多く学びました。

現在は、狭山市役所職員（電気技師）として、教育施設（学校・公民館など）の新改築工事の設計監理の仕事をしております。現在の私のモットーは、「驕らず謙虚でいること」、「他人の気持ちに寄り添い真摯に向き合うこと」。これらは全て高校の弓道生活から学んだことです。今の社会人生活が順調であるの

も、弓道の経験があったからこそだと思っております。また、弓道部の仲間とも、たまには顔を合わせ、近況報告や当時の思い出話で盛り上がっております。一生の宝物が出来ました。最後にありますが、在学中にお世話になった方々へ深く感謝申し上げます。在学中の生徒の皆さんが将来心に残るような情熱的で感動溢れる高校生活を送れますよう、心よりお祈り申し上げます。



### 高校時代の思い出



68 回卒  
大附 紗也  
(足立区在住)

「私の高校生活は部活動だけ」と言ってもいいくらいに、部活動に打ちこんでいました。私が所属していたのは女子ホッケー部で、毎年インターハイに出場している強化部でした。どうし

ても1年生から試合に出たくて、朝練習の前にトレーニング、学校終わりの部活動が終わってからも苦手な所の練習や走りこみ、筋力トレーニングと授業中以外は部活動のことしか考えていませんでした。そのかいもあり、少しの間ですが、1年生から試合に出ることができ、2年生、3年生のときには、インターハイで3位入賞することができました。これが私の中の高校生活一番の思い出であり、一番の青春だったと思います。

卒業後も駿河台大学に進学し、ホッケーを続けながら、体育の教員免許を取得するため勉学に励みました。大学4年生の時に、母校である、飯能高校へ教育実習に行きました。私が在学している時にいらつしやった先生が多く、一緒に教員という立場で生徒に指導できたことがとてもうれしかったです。

現在は、教員にはならず、飲食店で働いています。飯能に戻った時に飯能高校の生徒を見かけると、在学中、教育実習の時の思い出し戻りたいなあ毎回思います。

在学生の皆さんには、高校生だからこそできる青春を思いっきり楽しんでほしいなと思います。また、社会人になって東京で働いています。色々なものがあると思いますが、飯能にはかなわないなどよく思います。飯能でたくさんエンジョイしてく

### 学校とわたし

73 回卒 大崎 春奈  
(飯能市在住)

下さい。今しかできないことを思いっきり楽しんでください。

昨年の3月に飯能高校を卒業した私は、現在教育学部に通って小学校教諭を目指しています。大学1年生の頃は、高校生活をよく思い出しながら大学に通っていたものです。高校生の頃の思い出は数えきれないほどありますが、本日は二点に絞って私の思い出をお話しさせていただきます。

一点目は部活動についてです。私は元々表現することが好きだったので演劇部に入学しました。先輩方は優しく、顧問や顧問の先生方も熱心に指導してくださいっていました。しかし入部して間もなく、当時演劇部の3分の2を占めていた3年生が部活動を引退する日がやってきました。入部したばかりで右も左も分からない状態で迫られる世代交代に慌てふためきました。

上級生が少ないため1年生が主体となって活動する中で、私が副部長として活動を支え、2年生では部長を務めました。秋季演劇祭のために夏休みは合宿を行い、部員全員で一生懸命作品を創り上げた経験は私の一生の

宝物です。辛いこともありましたが、それ以上に得られる楽しさや、やりがいがありました。

二点目は先生との関わりについてです。飯能高校の先生方は心優しく、親身になって相談に乗ってくださいる先生ばかりでした。時には放課後に勉強を教えていただいたり、冗談を言い合ったりしました。もちろん苦手科目の成績が危なくて、愛のお叱りを受けたこともあります。どんなに嫌なことがあっても、「先生方に会いたい」という気持ちから3年間飯能高校に通うことができました。感謝しています。私も「先生」を目指しているので、私を支えてくださった先生方のように、明るくみんなを笑顔にできる先生になりたいです。

最後に、100周年を迎える飯能高校とともに、20周年を迎えた私の前撮り写真を添えてみました。大変おめでたいです。まだまだお話ししたいことばありますが、また機会があればお話しさせていただきますと思います。最後まで読んでいただきましてありがとうございます。



会長あいさつ



4 回 卒  
会 長  
木 川 一 男  
(飯能市在住)

100周年記念事業

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況が続いている中、令和4年度も教育現場では御苦労されていると思います。生徒の皆様が一日も早く安心して学べる状況となることを願っております。

さて、これまでに卒業生をはじめ、多くの皆様から御寄附を賜りまして誠にありがとうございます。創立百周年を迎え、記念事業を実施し、お祝いする年度となりました。現在、飯能高校と連携し記念事業の実施に向け準備を進めています。実行委員会での立ち上げ以前から今日までにご支援いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

念誌を発行し、記念植樹を実施する予定です。そして、昨年度に引き続き、学校応援事業として飯能高校のさらなる発展のために皆様から頂戴いたしました寄附金の一部を本校に寄附させていただきます。

現役生、卒業生、地域の皆様、学校関係の皆様とともに創立百周年をお祝いし、すばらしい記念事業を実施したいと思っております。引き続きご支援くださいますようお願いいたします。

なお、本年度も100周年記念事業募金の受け付けを行っておりますのでご協力いただきますようお願い申し上げます。

記念誌部会について

飯能高等学校創立100周年記念事業は4つの部会で構成されており、その一つとして記念誌部会が有ります。部会のメンバーは、高校の現役教員を含めて16名からなり、記念誌の作成作業にあたっています。

記念誌には、運動部のOB、OGの方々による対談(一部オンライン)、現役高校生によるOB、OGへのインタビュー、創立から現在までの歴代卒業アルバム集合写真、そして卒業生、教員等による寄稿文等を掲載する予定です。

記念誌の作成作業にあたっては、関係者の方々にご理解、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。同時に、現在着々とその発行に向けて準備を進めております。創立100周年記念事業に相応しい内容、卒業生2万6千人の心に伝わる記念誌の作成に心がけておりますので、乞うご期待下さい。

寄付金の状況

Table with 2 columns: Year (平成29年度 to 令和3年度) and Amount (円). Total amount: 17,063,000円.

100周年記念事業募金について

募金にご協力いただける方は、左記までメールでお知らせいただければ募金趣意書等を送付いたします。

募集期間 令和4年12月31日まで (募金取扱金融機関) ゆうちょ銀行 (口座名) 飯能高等学校100周年記念事業募金 (口座記号番号) 00220191887100

令和3年度 飯能高等学校創立100周年記念事業実行委員会 収支決算報告書 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

Income and Expense Statement for FY2021. Includes tables for '収入の部' (Income) and '支出の部' (Expenses) with columns for Budget, Actual, and Change.

残金 15,796,779円 - 6,311,030円 = 9,485,749円 (翌年度へ繰越し)

上記のとおり報告いたします。 令和4年4月29日

飯能高等学校創立100周年記念事業実行委員会 会長 木川一男

令和4年度 飯能高等学校創立100周年記念事業実行委員会 予算 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

Budget Statement for FY2022. Includes table for '収入の部' (Income) and '支出の部' (Expenses) with columns for Budget, Previous Year, and Change.

2. 附帯事項 現下の新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、本予算に重大な変更が生じる場合によっては、総会に付議せず会長において役員会の議を経てこれを変更することができるものとす。上記のとおり提案いたします。 令和4年4月29日

飯能高等学校創立100周年記念事業実行委員会 会長 木川一男

# 令和4年度 飯能高等学校同窓会定期総会

令和4年6月4日(土)に開催予定されていた定期総会は、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み中止としました。議事・議案に関しまして役員会において審議、承認いたしましたことをご報告いたします。

## 令和3年度 飯能高等学校同窓会 事業報告

事業月日	事業内容
03・04・08	入学式 <※により新入生と教職員のみで開催>
03・04・17	役員会① ・総会について ・会報について
03・05・13	監査会 ・決算
03・05・29	役員会② ・総会について ・会報について
03・06・05	定期総会に代わる役員会 <※により> 役員会③ ・会報発行委員会
03・06・26	役員会④ ・会報発行委員会(松楓45号編集)
03・07・10	役員会⑤ ・会報発行委員会(松楓45号編集)
03・07・31	役員会⑥ ・会報発行委員会一校正
03・08・07	役員会⑦ ・会報発行委員会二校正
03・08・28	役員会⑧ ・会報発行委員会 ・松楓45号発送作業
03・09・01	会報「松楓」45号発行
03・10・30	役員会⑨ ・会報について反省
04・01・15	役員会⑩ ・会報について
04・01	役員会 飯能南高等学校同窓会役員との話し合い<※により中止>
04・03	第74 回入会式(218名) <※により中止>
04・03・10	卒業式 <※により卒業生と各家庭1名、教職員のみで開催>
04・03・12	役員会⑪ ・総会について ・会報について

※ 新型コロナ拡大防止のため

## 令和4年度 飯能高等学校同窓会 事業計画

事業月	事業内容
04・04	入学式 <※により新入生と各家庭より1名、教職員のみで開催>
04・04	役員会 ・定期総会資料検討 ・会報発行委員会(松楓46号)
04・05	監査会 ・決算
04・05	役員会 ・定期総会資料検討 ・会報発行委員会(松楓46号)
04・06	定期総会に代わる役員会 <※により> 役員会 ・会報発行委員会(松楓46号 寄稿文依頼確認作業)
04・07	役員会 ・会報発行委員会(校正作業1)
04・07	役員会 ・会報発行委員会(校正作業2)
04・08	役員会 ・会報発行委員会(発行最終チェック)
04・08	役員会 ・松楓発送準備作業
04・09	会報「松楓」46号発行・発送
04・10	役員会
04・11	役員会
05・01	役員会 ・飯能南高等学校同窓会役員との話し合い
05・02	第75回入会式 同窓会役員出席
05・03	卒業式 同窓会会長出席
05・03	役員会 ・事業内容反省会等

※ 新型コロナ拡大防止のため

## 令和3年度 飯能高等学校同窓会 収支決算書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

科目	予算額	収入済額	比較増減	摘要
会費	1,110,000	1,090,000	△20,000	令和3年度卒業生(218名×5,000)
繰越金	1,638,121	1,638,121	0	前年度から
会報定期購読収入	198,600	213,200	14,600	平成29年度分(80名×200) 平成30年度分(36名×200) 令和元年度分(24名×200) 令和2年度分(763名×200) 令和3年度分(93名×200) 令和3年度新規分(14名×1,000)
賛助金	10,000	39,000	29,000	4名(荒田静江様、飯島士郎様、岡本正史様、丸山幸子様)
雑収入	279	9	△270	預金利息等
合計	2,957,000	2,980,330	23,330	

科目	予算額	支出済額	比較増減	摘要
会議費	50,000	11,419	38,581	役員会
会報発行費	800,000	632,282	167,718	松楓45号(9月1日発行)
慶弔費	30,000	0	30,000	
事務費	60,000	17,011	42,989	コピー代、振込手数料等
事業費	500,000	250,000	250,000	学校応援事業
ホームページ費	55,000	55,000	0	サーバー保守料
積立金	50,000	50,000	0	学校応援事業等基金積立金
予備費	1,412,000	0	1,412,000	
合計	2,957,000	1,015,712	1,941,288	

収入合計2,980,330円-支出合計1,015,712円=1,964,618円(令和4年度へ繰越し)

【財産目録】 普通預金 1,964,618円  
定期預金(学校応援事業等基金) 150,007円

上記のとおり報告いたします。  
令和4年6月4日

埼玉県立飯能高等学校同窓会  
会長 澤田 清志 ㊞  
会計 若林 淳子 ㊞  
会計 奥田由記子 ㊞

上記監査の結果 正当と認めます。  
令和4年5月19日

埼玉県立飯能高等学校同窓会  
監事 原島 稔久 ㊞  
監事 鯨井 暢 ㊞  
(注: 原本には認印があります)

## 令和4年度 飯能高等学校同窓会 予算

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

科目	本年度	前年度	比較増減	摘要
会費	1,125,000	1,110,000	15,000	令和4年度卒業予定者(225名×5,000)
繰越金	1,964,618	1,638,121	326,497	前年度から
会報定期購読収入	559,000	198,600	360,400	松楓定期購読収入
賛助金	10,000	10,000	0	
雑収入	382	279	103	預金利息等
合計	3,659,000	2,957,000	702,000	

科目	本年度	前年度	比較増減	摘要
会議費	50,000	50,000	0	役員会、飯能南高等学校同窓会役員との話し合い
会報発行費	800,000	800,000	0	会報(46号)印刷(4,000部)
慶弔費	30,000	30,000	0	
事務費	50,000	60,000	△10,000	事務用品等
事業費	500,000	500,000	0	学校応援事業等
研修費	50,000	0	50,000	
保守管理費	130,000	55,000	75,000	サーバー保守料データ管理料
積立金	50,000	50,000	0	学校応援事業等基金積立金
予備費	1,999,000	1,412,000	587,000	
合計	3,659,000	2,957,000	702,000	

【基金残高】 学校応援事業等基金 150,007円

上記のとおり提案いたします。

令和4年6月4日

埼玉県立飯能高等学校同窓会  
会長 澤田 清志

参考

## 定期購読料年度別配分表

年度	人数	収入金額	年度別配分額										
			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
30	36	36,000	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200						
R1	24	24,000		4,800	4,800	4,800	4,800	4,800					
R2	763	763,000			152,600	152,600	152,600	152,600	152,600	152,600			
R3	93	93,000				18,600	18,600	18,600	18,600	18,600			
R4	10	10,000						2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
合計	926	926,000	7,200	12,000	164,600	183,200	185,200	178,000	173,200	20,600	2,000		
合計559,000円													

※今後の定期購読料は当該年度一括収入とします。

# 松楓46号表紙について



このたびの松楓46号の表紙は飯能高校の歴史を語るべく創立当初から現在に至る心象風景を描きました。卒業式の日をモチーフに昭和初期のモンペ姿や紋付き袴姿をはじめ、ボント、聖子ちゃんカット、アムラー、ルーズソックスなど、移りゆくファッションで100年間の変遷をユーモラスに表現してみました。また、カーブミラーに映り込む懐かしいボンネットバスや、飯能を詳細に描写した三島由紀夫氏のSF小説『美しい星』にちなんでUFOも描きました。

楽しいときや辛いときなど人それぞれに様々な思いがよぎる100年の歳月ですが、昨今のコロナ禍では、授業や部活動が制限されるなど歯痒い高校生活が今もなお続いていきます。そうしたなか、松楓が皆さんの明るい素敵な笑顔の一助となれば幸いに存じます。

24回卒 市川 光男

## 事務局からのお知らせ

**「松楓」定期購読・賛助金の申し込みは郵便局の振込用紙で**

振込用紙は、役員または飯能高校の事務室窓口で配布しています。  
振込手数料は無料です。

飯能高校同窓会では、卒業した同窓生の様子や学校の近況を、多くの会員の方々に知っていただきたいと、毎年会報「松楓」を発行しています。  
この「松楓」は、定期購読（5年間1000円）できます。  
また、同窓会の活動に賛同していただける皆様に、賛助金をお願いしています。

定期購読料、賛助金は、郵便局の振込用紙で振り込むことができます。どちらの振込用紙も、同窓会役員または飯能高校事務室窓口で配布しています。  
定期購読、賛助金とも手数料は同窓会が負担し無料ですが、現金を振り込む場合は、現金取扱手数料として、窓口・ATMで110円必要になります。ゆうちよの口座から振り込む場合は、現金取扱手数料の負担はありません。

## 令和4年度同窓会役員一覧

- 顧問 矢島 得充 (16回卒) 田中 晃一 (20回卒) 本橋憲一郎 (4回卒) 町田多加次 (23回卒) 澤田 清志 (24回卒) 都築 敏夫 (25回卒)
- 参与 会長 都築 敏夫 (24回卒) 副会長 (総務) 中里 敏男 (25回卒) (事務局長) 新野代里子 (28回卒) (会報)
- 幹事 佐野 勇 (34回卒) 豊田 美子 (35回卒) 若林 淳子 (30回卒) 奥田由記子 (30回卒) 原島 稔久 (17回卒) 鯨井 暢 (28回卒) 市川 光男 (24回卒) 細田 宏子 (28回卒) 嶋田 栄子 (28回卒) 矢島幸一郎 (35回卒) 大野 賢一 (33回卒) 小澤 真帆 (65回卒)
- 校内理事 大野 賢一 (33回卒) 小澤 真帆 (65回卒)
- 会報委員 市川 光男 (24回卒) 細田 宏子 (28回卒) 嶋田 栄子 (28回卒) 矢島幸一郎 (35回卒) 大野 賢一 (33回卒) 小澤 真帆 (65回卒)
- 会計 若林 淳子 (30回卒) 奥田由記子 (30回卒) 原島 稔久 (17回卒) 鯨井 暢 (28回卒) 市川 光男 (24回卒) 細田 宏子 (28回卒) 嶋田 栄子 (28回卒) 矢島幸一郎 (35回卒) 大野 賢一 (33回卒) 小澤 真帆 (65回卒)
- 監事 若林 淳子 (30回卒) 奥田由記子 (30回卒) 原島 稔久 (17回卒) 鯨井 暢 (28回卒) 市川 光男 (24回卒) 細田 宏子 (28回卒) 嶋田 栄子 (28回卒) 矢島幸一郎 (35回卒) 大野 賢一 (33回卒) 小澤 真帆 (65回卒)

## ホームページのご案内

パソコン又はスマホから「飯能高校同窓会」で検索しますと、ご覧いただくことができます。是非とも、多くの方にご覧いただきますように。



飯能高校同窓会 検索

## 住所等変更届

住所、氏名等が変更になったときは、事務局までご連絡をお願いいたします。

\*同窓会ホームページお問い合わせアドレス

hankou.dousoukai@gmail.com

\*事務局・豊田 090-17847-9612

## 原稿・写真募集

投稿者には、スゴイ特典  
同窓会では、「松楓」の原稿を募集しています。テーマは、高校時代の思い出や現在の様子など何でもかまいません。文字数は800字程度でお願いします。また、昔の飯高の写真なども募集しています。ご応募いただいた写真はお返しいたします。  
応募を希望する方は、役員に連絡するか、同窓会のホームページからご連絡ください。採用させていただいた方の特典として、掲載号から5年間「松楓」をお送りいたします。

## 次回 同窓会総会

令和5年6月3日(土)



# 令和4年度 学校の近況について



教頭 廣瀬 和義



教頭 山本 仁

令和4年度も3年目に突入したコロナ禍のもと、感染防止のため何かと制約が多いスタートとなりました。しかし、昨年度よりさらに明るい兆しも出始めています。卒業式や入学式などの式典は今年も規模の縮小を余儀なくされましたが、授業に関しては現在のところ平常通りに行われています。また部活動についても練習の日数や時間等に制限があるとはいえ、活動を再開しています。大会関連も今年度は平常通りに開催されており、生徒は練習の成果を発揮しております。一方、学校の行事についても、現在のところ予定通り実施されています。学習面については、これまで通り、1年次の英語検定全員受験、2年次は英語等の成績をもとにしたクラス編成と上位クラスの模擬試験全員受験など進学実績の向上を目指す取組を継続しています。また、令和5年度の新校

開校のため、進学を重視しつつ多様な進路希望に応えられる単位の学校を目指して、新たな教育課程が編成されました。さらに新しい制服も制定されるなど着々と準備を進めております。

今後といたしましては、10月には創立100周年記念式典、そして令和5年は新校開校が計画されております。これからも地域の方々、同窓会の皆様のお力をさらにお借りしながら、生徒がたくましく生きる力を育てる教育を進めて行きたいと思えます。引き続き本校の教育にご理解・ご協力をいただければ幸いです。

◎**主な学校行事**  
4月 入学式(8日)  
242名の新入生を迎えました。



## 4月 遠足(22日)

1年生は横瀬町の小松沢レジャヤイチゴ狩りを楽しみました。2年生は修学旅行に向けて羽田空港に集合し、班ごとに計画を立てて都内各所を見学しました。3年生は東京デイズニerlandに行き、親睦を深めました。最高の遠足日和で、生徒の様々な表情を見ることができました。



1学年遠足



を制限されているため、ステイックバールンを使用するなど応援にも工夫を凝らし、クラスで統一したTシャツを着用して熱戦を繰り広げました。総合優勝は3年2組でした。



## ◎部活動の大会実績等

(6月中旬までの主な活動状況) 令和4年度 ホッケー部



関東大会 優勝、インターハイ(徳島県) 出場決定(14回連続)

### バドミントン部

女子個人 県大会出場

令和3年度

### 卓球部

女子団体 県新人大会出場

### 陸上部

県新人大会 女子やり投げ

5位・7位入賞

### テニス部

女子団体 県新人大会出場

### チアダンス部

全日本チアダンス選手権大会

決勝大会JAZZ部門3位

全国高等学校ダンスドリル大会

会冬季大会 優勝

### 箏曲部

埼玉県高等学校総合文化祭高

校邦楽祭 銅賞

今年度こそ、完全にコロナ禍をぬけて、生徒が安心・安全な学校生活を送れることを願っています。

## 5月 PTA総会(14日)

午前中は公開授業、午後は各種委員会、総会が開催されました。3年ぶりの活動再開で役員の方々も生き生きとしていました。

## 6月 体育祭(2日)

保護者の方々に観戦していただくことはできませんでしたが、感染防止のために大声を出すこと

## ◎今後の主な学校行事

9月11日(日) 榛の木祭(文化祭)が保護者と中学生対象に公開予定です。

10月29日(土) 創立100周年記念式典が飯能市市民会館にて開催されます。式典後「ピリギヤル」の著者で知られている坪田信貴氏の講演が予定されています。

11月18日(金)「ウォーク21」(強歩大会)吾野駅を起点にして約17kmを奥武蔵の豊かな自然に触れながら歩きます。

# 母校だより

## 写真部

顧問 太田 香里

現在、写真部員は1年生から3年生まで30名程度です。地学室を活動拠点とし、構図や光、カメラの設定などの技術を学んでいます。コロナ禍以前は上野や横浜などへの撮影会も行っていました。撮影した作品は、埼玉県高校写真連盟展や、総合文化祭写真展、飯能市写真連盟展、文化祭などで発表しています。

デジタル編集なども用いて自分自身の表現を行う「芸術としての写真」に主軸を置いて活動



吉川楓馬「千矢一心」

細田清加「その笑顔が私を…」



しています。その過程で、写真表現で一番大切な、被写体となる人、物等に対する尊敬・愛情などの思いや他とコミュニケーションする力も醸成できるように日々鍛錬しています。写真もトレーニング。取りたい瞬間にベストなカメラパフォーマンスができるよう、素振りのようにシャッターを押して頑張っています。

※7月5日〜10日に埼玉県立近代美術館で行われた埼玉県高校写真連盟展で、部長で3年生の吉川楓馬さんがテーマ部門で優良賞、2年生の細田清加さんが自由部門で奨励賞を受賞しました。

## 女子バスケットボール部

顧問 関 圭祐

女子バスケットボール部は現在3年生5名2年生12名1年生8名の計25名で日々活動しております。活動内容は、厳しいフットワークメニューから生徒が好きな試合形式のメニューさらに他校との練習試合など多岐にわたって行っております。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりすべての大会が無観客での実施となり、現在の3年生は高校3年間の公式戦を保護者の方々に見てもらうことができずに引退することとなりました。これから少しずつ感染状況が落ち着き、少しでも多くの方に部員たちが活発に活動している姿をお見せできれば



おぼと 思っています。

最近では、近隣の中学校とも合同練習や練習試合をさせていただく機会があり飯能高校女子バスケットボール部の魅力をより多くの方に知ってもらうために活動しております。また、現在の2年生が新校の1期生となることもあり、さらにパワーアップしてより高い目標に向かって活動していきます。そして今年の部員たちで、私が飯能高校に赴任してから成しえていない県大会出場を達成したいと考えております。

<b>（退職）</b>		<b>（転出）</b>		<b>（転入）</b>	
事務室長	細谷 智子	校長	関口 正人 (所沢北高校)	校長	矢島 得充 (本校教頭)
教諭	山田紗恵子	教諭	池田 雅巳 (松山女子高校)	教頭	山本 仁 (豊岡高校)
		教諭	羽生 拓 (所沢高校)	事務部長	黒沢 伸江 (小鹿野高校)
		教諭	水谷 元彦 (県生徒指導課)	教諭	高峯祐一朗 (日高高校)
		教諭	山崎 勉 (小川高校)	教諭	甲原 史朗 (市立川越高校)
		教諭	増田 正 (川越西高校)	教諭	久保 貴之 (伊奈学園高校)
		教諭	三浦周一郎 (川越西高校)	教諭	板垣 一輝 (民間)
		主任	高木しゅう (県自動車事務所)	教諭	山岸 岳央 (ふじみ野高校)
業務主事	成田 美和	業務主事	吉澤 進	教諭	今井 一則 (本校定時制)
主任専門員	山下 道夫 (本校職員)	主任	川口 ひな (朝霞高校)	教諭	阿部美智子
業務主事	田中 栄一 (狭山緑陽高校)	主任	岸 秀雄 (朝霞西高校)	教諭	内山 ちせ (本校教諭)
業務主事	橋本 健 (芸術総合高校)	教諭	佐野 晴久 (本校教諭)	教諭	清水 優太 (本校教諭)
		教諭	岩内 唯郎 (飯能南高校)	教諭	高野 好美 (川越西高校)
		教諭	竹内 次郎 (飯能南高校)	教諭	鯨井 暢 (本校教諭)
		教諭	森西忠次郎 (狭山経済高校)	教諭	吉野 善行 (本校教諭)
		教諭	細野 良幸 (本校教諭)	教諭	清水 繁 (本校教諭)
		教諭	平塚 良幸 (狭山経済高校)	教諭	細野 二郎 (本校教諭)
		教諭	森西忠次郎 (飯能南高校)	教諭	清野 繁 (本校教諭)
		教諭	岩内 唯郎 (飯能南高校)	教諭	吉野 善行 (本校教諭)
		教諭	佐野 晴久 (本校教諭)	教諭	清水 繁 (本校教諭)
		主任	岸 秀雄 (朝霞西高校)	教諭	細野 二郎 (本校教諭)
		主任	川口 ひな (朝霞高校)	教諭	平塚 良幸 (狭山経済高校)
		主任	山下 道夫 (本校職員)	教諭	森西忠次郎 (飯能南高校)
		主任	田中 栄一 (狭山緑陽高校)	教諭	竹内 次郎 (飯能南高校)
		主任	橋本 健 (芸術総合高校)	教諭	岩内 唯郎 (飯能南高校)

## 令和4年度人事異動

# 階段アート

美術科教諭 内山 ちせ



校内を歩いたことがある人なら、飯能高校の階段が華やかだなお気づきになった方もいるのではないのでしょうか？

飯能高校の階段には、美術Ⅱの授業内で製作した階段アートを展示しています。

階段アートの展示は一時的なもので、半永久的に残るようなものではありません。一時的に

見慣れた光景を新鮮に感じさせてくれるパブリックアート（公共の場を利用しての芸術活動）の一種です。

生徒たちは、階段を登った人がどのように楽しめるか、展示場所やモチーフに工夫を凝らして制作しています。飯能市に即したキャラクターや内容、階段の薄暗さを活かした新鮮で魅力的なスポットになりました。まだ見たことのない人も、ぜひ飯能高校にお越しの際にごらんになつてください。



## 同窓会理事名簿追加

### 〔第74回卒業生 同窓会理事〕

令和4年3月卒業（高校74回）された同窓生の中から、左記の方が理事となりましたので紹介いたします。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1組    | 西澤 誠人  |
| 高橋 亮祐 |        |
| 2組    | 忍足 ほの花 |
| 宇賀神茉鈴 |        |
| 3組    | 高木 昂   |
| 齋藤 郁弥 |        |
| 4組    | 上川 侑大  |
| 田中 音織 |        |
| 5組    | 大藤 和史  |
| 篠木 亜佑 |        |
| 6組    | 齋藤 万里子 |
| 田口 莉乃 |        |
| 学年代表  | 大藤 和史  |



今回46号のイラストは「あまがえるのかくれんぼ」『あまがえるのぼうけん』(たてのひろし／文 世界文化社)の絵を担当したかわしまはるこさん・37回卒の作品を転載いたしました。

## 編集後記

「松楓」46号を発行するにあたり、原稿・写真等をお寄せくださった方々に心より御礼申し上げます。編集会議で原稿を読ませていただくたびに、伝統ある飯能高校の卒業生としての誇りを感じています。

なかなか日常生活に戻れない世の中ですが、より多くの方々に読んでいただき、皆様のお気持ち少しだけでも穏やかになられましたらうれしく思います。

A・W

### 〔編集委員〕(◎編集委員長)

- |        |       |
|--------|-------|
| 澤田 清志  | 嶋田 栄子 |
| 都築 敏夫  | 矢島幸一郎 |
| 中里 敏男  | 若林 淳子 |
| ◎新野代里子 | 奥田由記子 |
| 市川 光男  | 佐野 勇  |
| 細田 宏子  | 豊田 美子 |

### 会報「松楓」第46号

令和4年9月1日

編集・発行 同窓会

発行責任者 会長 澤田 清志

印刷 (株)ブラウズ

発行所 埼玉県飯能市

埼玉県立飯能高等学校内

飯能高等学校同窓会